

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-139	16-026	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
<p>Bidirectional associations between alcohol consumption and health-related quality of life amongst young and middle-aged women. 若中年女性における飲酒と生活の質との双方向の関連</p>		
執筆者		
Schrieks IC, Wei MY, Rimm EB et al.		
掲載誌		
J Intern Med. 2016 Apr;279(4):376-87. doi: 10.1111/joim.12453.		
キーワード		PMID
飲酒、アルコール飲料、女性、生活の質、長期疫学研究		26686667
要 旨		
<p>目的： 中等度の飲酒と生活の質との双方向の関連を長期コホート研究より明らかにする。</p> <p>方法： Nurses' Health Study IIに参加した女性 92,448名のうち、飲酒量と2年後の生活の質との関連を88,363名について、生活の質と2年後の飲酒量との関連を84,621名について解析した。生活の質は身体的・精神的の2種にスコアリングし、5分位で分類した（最も低い群を基準）。飲酒量は、非飲酒、禁酒、機会飲酒（基準群）、少量飲酒、中等度飲酒、多量飲酒に分類した。</p> <p>結果： ベースライン時飲酒量の増加に伴い、2年後の身体的生活の質も増加がみられた（機会飲酒者に比べ中等度飲酒群で0.67±0.06スコア増加）。この関連はベースライン時の身体的生活の質で調整すると有意ではあるが減弱した（0.33±0.07スコア増加）。低～中等度飲酒は2年後の精神的生活の質と関連がみられず、一方、多量飲酒は2年後の精神的生活の質の有意な減少がみられた（機会飲酒者に比べ-0.34±0.15スコア変化）。ベースライン時の身体的生活の質が最も高い群では、2年後の飲酒量が高値で、ベースライン時飲酒量で調整後も関連は有意であった（最低群を基準として1日あたり0.53±0.05g増加）。ベースライン時の精神的生活の質は2年後の飲酒量と有意な関連をみとめなかった。</p> <p>結論： 若～中年期女性において、中等度の飲酒は2年後の身体的生活の質を向上させ、身体的生活の質が高いほど2年後の飲酒量が増加した。中等度の飲酒と精神的生活の質との有意な関連はいずれの方向においてもみとめられなかった。</p>		